

科目名	助産診断・技術学 I (Midwifery Clinical Skills I)			科目コード	S106
単位数	1 単位	選択区分	必修	時間数	30 時間
区分	助産学実践領域	学期	前期	関連DP	助①②④⑥
担当教員	今村 朋子、井上 明子、伊藤 美香、瀧本 千紗				
授業概要	本科目では妊娠期の内容に焦点を当てる。妊娠期は、これからの出産・育児に向けた準備期間であり、妊娠期を丁寧に過ごすためには、保健指導による助産師の関わりが重要である。授業では、まず助産診断・技術学 I～IVの導入としてマタニティサイクル全体を通じた助産診断枠組みと援助の基本について教授した後、妊婦とその家族の事例展開により、助産師として妊婦健診や保健指導を自立して実施するために必要な基礎的能力を養う。				
授業目標	1 マタニティサイクルの助産診断枠組みと援助の基本が理解できる。 2 妊娠期の診断と援助を行うための知識・技術を習得し、助産過程を展開することができる。				

授業計画

回	項目	内 容	担当者
1. 助産・診断技術の基礎			
1	助産診断・助産技術学 スタート編	「お産とはなにか?助産とはなにか?」 主体的な学びと助産学生のゴールとは?	今村朋子
2～3	助産診断・助産技術とは? 助産援助とは?	マタニティサイクルの助産診断類型と助産過程 助産診断と援助・技術の関係 助産援助の基本となる概念とアプローチ法	
4	女性のからだ理解のワーク	骨盤周辺の形態機能の特徴	
5	妊娠・分娩期の フィジカルイグザミネーション	【技術演習】母体と胎児の診察技術 腹部計測・レオポルド触診法・胎児心音聴取 (トラウベ・ドップラー・胎児心拍モニタリング)	伊藤美香 井上明子 瀧本千紗
6	★6回は、6月の実習前に実施	【講義・演習】胎児の健康状態と陣痛の評価 分娩監視装置の装着と判読法	井上明子
2. 妊娠期の助産診断・技術			
7	事例展開① 妊娠初期：初診	妊娠の診断、予定日の確定診断 妊娠初期における妊婦の身体・心理的状态の理解	今村朋子
8	妊娠初期検査の判定と記録	初期検査結果の判定と母子への影響 助産録における基本情報の整理	
9	事例展開② 妊娠初期：助産院初診	助産業務ガイドラインとリスク判定 妊婦健診スケジュールと社会制度	今村朋子 瀧本千紗
10～11	事例展開③ 妊娠中期：24 週	妊娠中期の特徴に応じた健康診査と保健指導 妊婦健診の実際 【実践演習】保健指導の実践	
12～13	事例展開④ 妊娠末期：36 週	妊娠末期の特徴に応じた健康診査と保健指導 【実践演習】妊婦健診・保健指導の実践	
14	妊娠期の助産診断まとめ 効果的な保健指導とは?	36 週の診断結果のディスカッション 健康教育の理論、助産師が行う保健指導の特徴 セルフケアを促す保健指導の展開とは?	今村朋子
15	妊娠経過に基づく分娩予測と リスク診断	【診断技術試験】 妊婦健診 39 週の様々な事例の診断	今村朋子 伊藤美香
成績評価 方法	妊娠期保健指導 (20%) 実技試験 (25%)、助産過程の展開 (20%)、授業に取り組む積極性 (10%)、 筆記試験 (25%)、とし、各評価ともに 6 割を合格の条件とする。		
教科書	共通シラバスのとおり		
参考図書等	・進 純郎、高木愛子「(ブラッシュアップ助産学)助産外来の健診技術」(医学書院) ・我部山キヨ子、大石時子「助産師のためのフィジカルイグザミネーション」(医学書院) ・鈴木由美「マタニティサイクルの実践保健指導 (妊娠期)」(丸善プラネット)		
授業時間外の 学習について	毎回、次の授業に向けた課題があるため、授業時間外での事前学習が必要となります。 授業は、各自が実施してきた課題を確認する形式で行います。		
関連科目	101 助産学概論、103 周産期医学、111 統合ヘルスケア ⇒本科目 ⇒117-119 助産学実習 I～III、110 周産期ハイリスクケア論		
備考	※14 回の後、事例展開⑤として 39 週妊婦健診場面の実技試験を実施します。 (今村・井上・伊藤・瀧本)		